

料金後納

ゆうメール

# 育脳寺子屋通信

〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20

育脳寺子屋MAC

TEL 075-871-0374

FAX 075-882-3777

URL <http://www.mac-terakoya.com>

e-mail [4411@mtf.biglobe.ne.jp](mailto:4411@mtf.biglobe.ne.jp)

teaching → learning

これからは「学ぶ教育」

育脳寺子屋の加盟教室を募って1年半が経過しました。  
加盟され満足される結果になっているでしょうか？

育脳寺子屋の加盟塾の生徒数、現時点で多い教室では27名(^\_^) 少ない教室では・・・(;\_;)  
競争することの少ないブルーオーシャンにもかかわらず、集客できていない教室も少なからず存在します。

その原因は？

よく言われるのが地域性。でも、これを言ってしまうてはおしまいです。

企業に置き換えても、同じ業種でありながら業績の良いところと悪いところがあるという現実があります。地域性を、業績の決定条件と考えると、次なる策を考えることが出来ません。

育脳寺子屋MACも、この授業形態・育脳主体の授業内容にした時は、小学生は10数人しかいませんでした。しかしながら、度重なるポスティングと口コミで生徒が増えだしたのです。

MACの立地条件は、教室を中心に半径500mに30数教室がひしめいている状況ですが、この地域では、小学生を一番多く抱えています。

加盟教室を募りだしたのも、電車に乗って通ってくる生徒が現れたからなのですが・・・

この原稿を書いている前日も、11月より通塾している小2の生徒の母親が、

「うちの子が学校でMACが楽しい、楽し過ぎると周りの子に言っているみたいで、お友達の親からMACを紹介してほしいと言われましたので」

と、わざわざ足を運んでくれました。

育脳寺子屋に加盟されたとき、**MACの取り組みに賛同し、「やりたい」という気持ちを、判断の基準にされたのでしょうか？**

**新しいことに取り組む場合、「出来る」か「出来ない」かではなく、「やりたい」か「やりたくない」を判断の基準にしなければなりません。**

そして**重要なことは、「やる」ときめたら、どうしたら出来るかだけを考えること**です。

ところで、育脳寺子屋に加盟されている塾は、大手とは違い地元密着の塾です。地元密着の塾の存続条件は何だと思われますか？

まず、前提条件として、当たり前と言われそうですが  
教室長が

① **子供好きであること**

② **日々、生徒の能力向上を考えていること**

(大手塾の室長の仕事は、美辞麗句を並べ集客テクニックを駆使して生徒を集めること)

そして、

**1. 当たり前のことを、コツコツ継続できること**

遠回りが、結局は近道であることを知っていること

**2. 何でも採り入れる思考を持つこと**

学習塾なので、採り入れる際は、大人目線ではなく子供目線で見られること

**3. 出来るだけ長期的ストック型収益を選ぶこと**

人との付き合いも、短期間で親密になった場合は、破綻が早く来るように、短期間で多くの生徒を集めるのではなく、徐々に確実に増やしていく方が、的確な対応が出来、安定した収入につながるからです。

よく学習塾のコンサルタントから送られてくるDMに、短期間に生徒数が倍増(50人が100人とかもっと大きな数が書かれている)した実例? など書かれているが、物理的に対応出来ないのではないのでしょうか?

**4. 新しいことに対して「リスクが高い」「仕事が増える」「面倒くさい」的思考を持たないこと**

パソコンで指導するので、手が掛らないし、楽が出来る。また、講師を雇うより経費も掛からないからと、起業された方も多いのではないのでしょうか?

小さい子どもを指導するときは、パソコン任せではなく、子供たちの顔の表情や目を見なければ、適切な対応は出来ないことを肝に銘ずるべきです。

**5. 子供を感動させるためには、まず自分が感動できること**

授業で感動の共有が出来ることが問われている。先生が、感動してやらなければ、生徒のやる気が起こりにくい。生徒指導は手間がかかるもの。

1～5で述べたことは、実は「起業して『3年以上続く人』と『ダメな人』の習慣」という本に載っていたことを私が塾仕様に書き変えたのです。

FCでの起業で結果の出ない人は、本部の指示通りに動いていれば問題ないと思って取り組んでいる。加盟したら生徒が集まってくると思っている人なのです、と書かれています。

### 『ダメな人』の習慣は

#### ・情報収集ばかり行い、最善の策を最短で見つけようとする人

失敗から学ぶこともたくさんあるため、その経験することなしに容易に良い結果を得ることは出来ない。

(セミナーには皆勤、やった気になっている。まず失敗を恐れず実践に移さなければ)

#### ・マナーの悪い人

社会常識の無い人

(今までは勉強さえ教えていればよかったが、これからは通用しない)

このように書かれています。( )内は、私の言葉です。

MACでは、11月の中旬ごろに在塾の小6生対象に「中学部の説明会」を実施しました。

以前は、毎月MACnewsを各家庭に送付しているので、保護者も十分にMACの方針は理解してくれているだろうと思っていなかったのですが、MACの方針を徹底すると共に、この説明会を宣伝の場にするべきだと考え、実施することにしたのです。

したがって、近隣の塾との違いを前面に出し、納得していただくことを主眼とした説明会にしました。

#### 今、大学を出ても仕事のできない人が多くいる。

指示されないと動けない、更には指示しても動けない。

その席で、ちょっと待つように言われると、言われたように一日でもじっと座っている。

自分からできることを探して手助けしようとしなない。

#### その原因は、「〇〇ページを開けて」から始まる受け身の授業形態にある。

今の授業形態のもう一の問題点は、学習スピードは人によって異なり、直感で分かる人もいれば、こつこつと理解を深めていく人もいる。しかしながら一定の学習スピードに合わせようとするのである。

#### また、3年たつと約半数の人が最初の仕事を辞めてしまう。

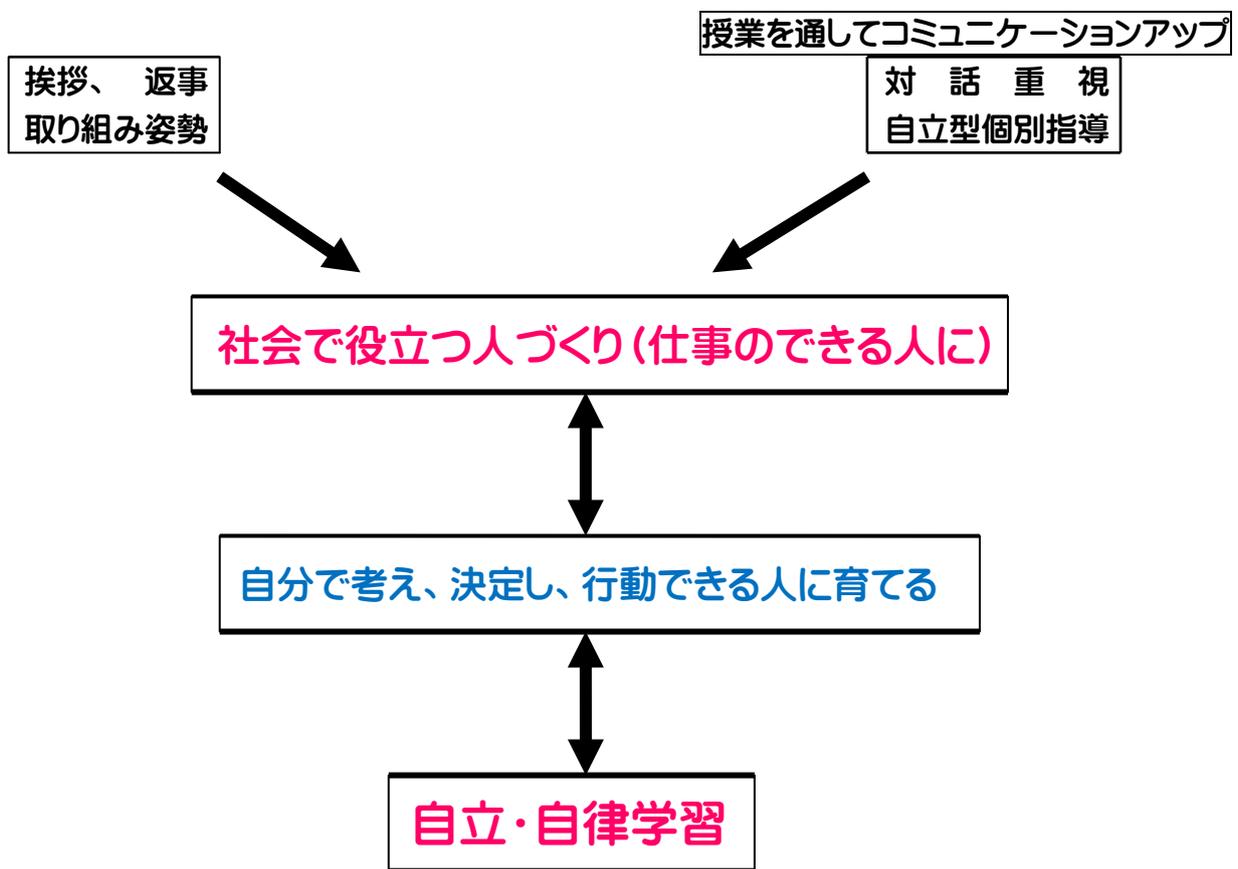
その原因の一つにコミュニケーションがとれないことがあげられる。

もう一つには挨拶・返事が出来ない。

そして注意を受けた場合の態度にも問題がある。

一説によれば、学校の評価が相対評価から絶対評価に変わったことによるとのこと。

(叱られることなく、ほめられることが多いことから、根拠のない自信を持っている人が増えており、注意されるだけで落ち込む)



受け身でなく、能動的な自学自習  
独学できるように！

問題の解き方を教えるのでなく  
勉強の仕方・考え方の指導

MACの指導法は、おなかが減った時に釣った魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えている。そうすれば、おなかが減った時にはいつでも自分で魚を釣ることが出来る。

勉強の仕方・考え方の指導をしているので、MACで受講していない科目でも高得点をとっている。

例えば、社会の教科では、昨年、学年1位、2位をMACの生徒が占めた。

更に、定期テスト1週間前にはMACに来なくても良いように、計画性のある学習が出来るように指導。1週間前から来ていない生徒は、全員5教科平均90点以上の結果を残している。

社会に出れば、期日の決まっていない仕事などない。期日前に仕事が終わるように取り組まなければならないことを示唆。

近隣他塾のように定期テスト1週間前からの定期テスト対策授業はしない。

なぜなら、そのような授業は、日頃の授業をおろそかにするだけであり、学習本来の意義から外れることになるから。

また、定期テスト当日の朝6時ごろに生徒を教室に集め、ここから出るからと覚えさす様な授業もしない。

このような指導をしているのは、社会に出てからのことに照準を定めているからである。

教育再生会議において、大学の卒業認定を厳しくすると提言がなされているが、受け身一方の授業が当たり前になっている人は、なかなか卒業できない事態も考えられる。

私からは、以上のようなことを保護者に話しました。

大手塾と同じ手法で勝負しても、まず資金力で大きな差が付き、合格実績でも母体数が違うのだから大きく差がつきます。

したがって、大手塾とは違う手法で、目先を追うのではなく教育再生会議の提言などを踏まえ今後の塾展開を考慮すべきではないでしょうか？

**大手塾と目指すところを変えることが、今後の地域密着塾の存続条件だと考えています。**

## ソロバンテキスト

掛け算・割り算につづき、足し算・引き算も **オリジナルテキスト** 完成しました。

足し算・引き算は、それぞれ4パターンの運珠法に分類できますが、それに基づき編集しました。

初心者の方にも分かりやすく、指導しやすくなっています。

そのまま足せる		5珠を足して 5の補数を引く		10珠を足して 10の補数を引く		10珠を足して5珠を 引き5の余数を足す		
1+1	1+2	1+3	1+4	1+5	1+6	1+7	1+8	1+9
2+1	2+2	2+3	2+4	2+5	2+6	2+7	2+8	2+9
3+1	3+2	3+3	3+4	3+5	3+6	3+7	3+8	3+9
4+1	4+2	4+3	4+4	4+5	4+6	4+7	4+8	4+9
5+1	5+2	5+3	5+4	5+5	5+6	5+7	5+8	5+9
6+1	6+2	6+3	6+4	6+5	6+6	6+7	6+8	6+9
7+1	7+2	7+3	7+4	7+5	7+6	7+7	7+8	7+9
8+1	8+2	8+3	8+4	8+5	8+6	8+7	8+8	8+9
9+1	9+2	9+3	9+4	9+5	9+6	9+7	9+8	9+9

そのまま引ける

5 珠を引いて  
5 の補数を足す

10 珠を引いて  
10 の補数を足す

10 珠を引いて 5 珠を  
足し 5 の余数を引く

2-1	3-2	4-3	5-4	6-5	7-6	8-7	9-8	10-9
3-1	4-2	5-3	6-4	7-5	8-6	9-7	10-8	11-9
4-1	5-2	6-3	7-4	8-5	9-6	10-7	11-8	12-9
5-1	6-2	7-3	8-4	9-5	10-6	11-7	12-8	13-9
6-1	7-2	8-3	9-4	10-5	11-6	12-7	13-8	14-9
7-1	8-2	9-3	10-4	11-5	12-6	13-7	14-8	15-9
8-1	9-2	10-3	11-4	12-5	13-6	14-7	15-8	16-9
9-1	10-2	11-3	12-4	13-5	14-6	15-7	16-8	17-9
10-1	11-2	12-3	13-4	14-5	15-6	16-7	17-8	18-9

MACでは、新学期に向けての生徒募集作戦として、

毎年12月に小学生の塾生全員に『親子で育脳トライアル』を配布しています。

この配布により、現塾生の弟や妹などが入塾しています、是非お試し下さい！！

保護者欄

いつもお世話になり、ありがとうございます。  
親子で育脳トライアルを子どもと取り組ませて頂いたので。  
子どもは親御に負けたい様に真剣に取り組んでいました。  
私も子どもに負けたい様に頑張っていました。  
全部の課題をこなして子どもには勝てませんでした。  
子どもは、お母さん、「遅いなー」「線がちゃんと書けてないなー」と  
言われ、MACに習い始めた時より成長しました。何れも楽しく  
MACにやる事が親に喜んでいます。

(知り合いにもあげたいと思っております、一部、宜しくお願ひ致します。)